

過年度遡及修正専門委員会における検討状況

1. 主な検討事項

重要性に関する基本的な考え方について

- 「重要性に関する基本的な考え方について、明確にすべき」との公開草案に対するコメントを踏まえ、国際的な会計基準を参考に、重要性について金額的重要性及び質的重要性に関する考え方を本会計基準の「結論の背景」に記載することでどうか。また、記述する内容は適切か。

資料(5)-4、会計基準第 36 項

重要な誤謬について

- 「重要な誤謬については、他の重要性とは性格が異なるため、別途定義すべき」との意見があるが、IFRS においても、誤謬に関する重要性は、IAS 第 1 号「財務諸表の表示」及び概念フレームワークと同様の内容が定められており、特別の定義を設けていないことを踏まえ、本会計基準では「重要な誤謬」という定義を設けず、重要性が考慮されるという現在の記述に加え、会計基準のコンバージェンスの一環で取り組んでいることから、IFRS における考え方についても本会計基準の「結論の背景」に記載することでどうか。

資料(5)-4、会計基準第 43 項

既に公表している過去の財務諸表の訂正と本会計基準との関係について

- また、既に公表している過去の財務諸表の訂正との関係については、本会計基準は、当期の財務諸表に合わせて過去の財務諸表が開示対象とされている場合(比較財務諸表)の誤謬の取扱いについて定めるものであり、既に公表している過去の財務諸表自体の訂正期間及び訂正方法は、関係法令に従うものと考えられる旨を本会計基準の「結論の背景」に記載することでどうか。

資料(5)-4、会計基準第 73 項

2. 専門委員会、委員会における検討スケジュール案

専門委員会日程	委員会日程	主な審議事項
8月24日(月)	9月1日(火)	・重要性に関する検討 ・公開草案に対するコメント対応
9月24日(木)	10月1日(木) 又は10月15日(木)	・公開草案に対するコメント対応 ・会計基準、適用指針の文案検討
10月9日(金) 10月28日(水)	11月12日(木)	・会計基準、適用指針の文案検討
11月18日(水)	11月26日(木)	・会計基準、適用指針の文案検討

以上